

大会計測の案内

2012.2.22 計測小委員会

1. レース前計測 PRE EVENT CHECK

- ① 2012年イヤーシリーズ方式の簡易計測を原則とします。
このため、装備品の計測証明書とシリアルNo.の一致、及び使用できる装備品を限定するためのスタンピングが主な作業となりますが、目視にてチェックできる事項は検出されます。
例：マストのカラーバンドがはっきりしないもの。
もやいロープのタイプが浮かないと疑われるもの。
センターボードにハンドルとして利用できるロープを取り付けたもの。
- ② 計測を受ける時の常識として、艇は乾燥状態にて計測場に搬入して下さい。
- ③ 本選考会では①に加えて以下のチェックを行います。
 - a) セールのワンポイントチェック
2011年のIODA大会の計測問題として『セールの半幅がクラスルール及びERSの規定を越えたための不合格。』がありました。(2011年の全日本/唐津ではフル計測で検査実施) IODA大会参加のために問題点を排除したいとの意味で、
『クラスルール 6.4.4 半幅 最大1700mm』について全セールを検査します。
 - b) 一部の艇に対するハル重量のチェック
2011年全日本では全艇の重量計測を行いました。この時に検査を受けていない艇がエントリーリストにあります。(新艇)
また、補正重量の木片を取り付けた艇は今回も木片を維持する必要があります。
※該当する艇は <http://www.wakayama-sailing.org/JODA/index.html>
の『計測リスト・計測予定表』から確認する事が出来ます。

2. 海上計測 On-the-water inspections after races

- ① レース前には検査が適さない項目(ライフジャケット、笛の装着、ガラミの間隔、ラフ計測バンド等々)は、帆走指示書に従ってフニッシュ直後に海上で検査します。詳しくは http://japan-opti.com/rule/rule_file/taikaikeisoku/kaijyochek.htm に解説がありますのでご覧ください。
- ② 違反をしてしまった場合にはDPI(ジュリーの裁量によるペナルティ)が科せられます。違反内容が、軽いか重いか/不注意か故意または悪質かにより参加艇数を%で換算した得点が罰として成績に追加されてしまうので注意して下さい。